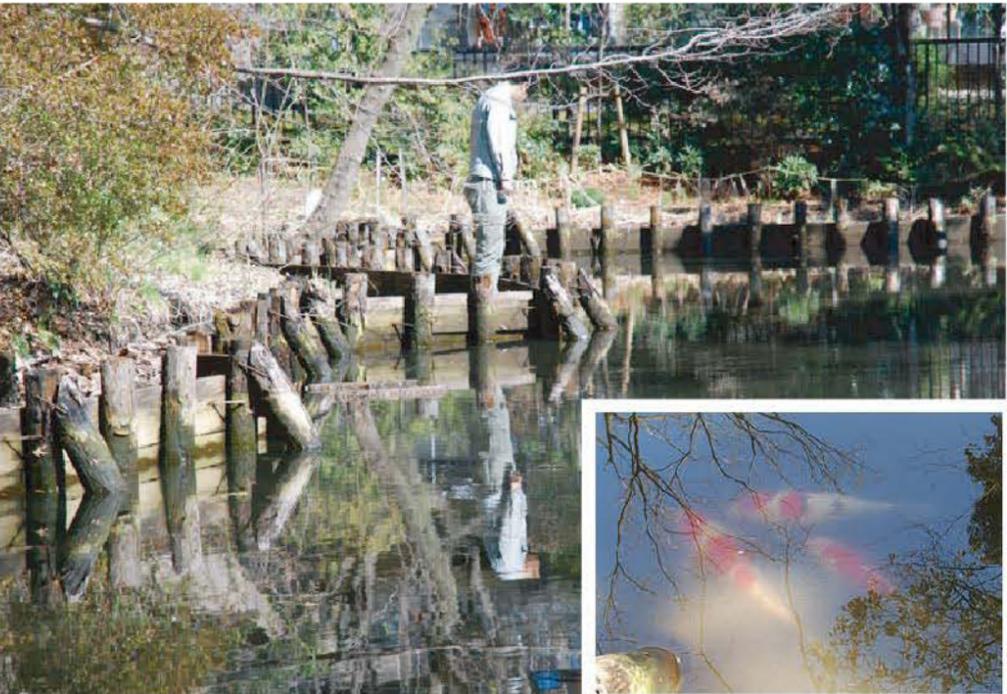


特別保護区の早春

二月の特別保護区では、自慢の池の保護作業が行なわれていました。

水を少なくした池の底には落ち葉や泥がたまっていて、コイが水の深い所を探して隠れていました。池の周りが崩れるのを防ぐ護岸の板と杭は、まるで恐竜の牙のよう！職人さん達が護岸に土などを入れて修理していました。土が落ち着けばいろいろな草が生えてきます。



◀ コイがおどろいて深い所に避難していました。
▶ ヒキガエルがもうやって来ました。冬眠あけでガリガリにやせているようです。



今月も落ち葉かき

春を見つけたよ

ウメ、マンサク、ツバキなどの花が咲いていました。落ち葉の下からはフクジュソウのつぼみを見つけました。



▲ウメは満開



▲カワツサクラのつぼみ



▲フクジュソウのつぼみを見つけました。



▲葉のかげのツバキ



▲マンサク

▼マンリョウの実はまだ食べられずに残っていました。ミカンもあるのでまだ残してあるのかな？



▲ミカンは小鳥の大好物。中がからっぽの実が残っていました。

落ち葉は今月も残っていました。小さな草が埋もれている所を少しかいて、芽が出やすいように、葉が伸びやすいように。集めた落ち葉は堆肥になります。園内を見て回ると木々の花が咲き始めていました。実が残るマンリョウの根元にはセミの抜け殻が。今年も抜け殻調べがあります。



もうありません！

とられた？

11月にクスノキの葉裏にあったアオスジアゲハの蛹は、何者かに持ち去られていました！



▲降り積もった落ち葉をかき集めたものは堆肥にしましたが、草の上に残したふとんは芽生えの前にはがします。